

- ③ これまでの校内研修の成果・TT指導・教科担任制の財産として生かします。
- ④ P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）サイクルを生かします。
- ⑤ 子どもの実態（学習・生活）をきめ細かに捉え、全職員で全児童を教え育む意識を持ちます。
- ⑥ 学年の発達段階をおさえ、一貫した学習習慣・生活習慣が身に付くよう指導内容を整備します。（保育園・幼稚園・中学校・高校との接続を重視し、一貫性のある指導）
- ⑦ 「新学習指導要領に基づいた教育実践」を行います。

《本年度の重点目標》
〇いい声・いい汗・いい笑顔

合言葉

『やれば、できる！』（子ども）

～どの子ども、めあて（見通し）をもち、意欲的にチャレンジして欲しい。そして成功体験（達成感）を数多く経験することを通し、自信を大いに高める。「為せば成る。為さねば成らぬ何事も。成らぬは人の為さぬなりけり」

『どの子ども、磨けば、光り輝く！』（職員）

～子ども達の個性や可能性を最大限に引き出し伸ばすことを心掛け、底力（根っこの力）を鍛え、自ら光りを放ち輝くことのできる子に育てる。そのために私たち教師自身が研鑽に励み職能を高める。

『石垣のような学校組織』

～大きさ・形・強度の違う石がかみ合う力～

全職員の協力の下、子ども達にとって通いたくなる楽しい学校、保護者にとって子どもを通わせたい信頼できる学校、私たち職員にとって働きがいがあり協働性のある生き生きとした学校＝子ども達の笑顔と夢や希望があふれた学校にします。

1年間、宜しくお願いします。